科名 外科 外38
 対象疾患 大腸癌
 プロトコール名 BEV+FU/LV

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	22	...	29	...	36	...	43	...	56
1	点滴注	メイン	生理食塩液	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓
2	点滴注	側管①-1	デキサート	6.6mg	30分かけて	↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓
			生理食塩液	50mL																
3	点滴注	側管①-2	レボホリナート	250mg/m ²	2時間かけて	↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓
			生理食塩液	500mL																
4	点滴注	側管②-1	フルオロウラシル	500mg/m ²	レボホリナート投与開始1時間後全開	↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓
			生理食塩液	50mL																
5	点滴注	側管②-2	ベバシズマブ	5mg/kg	レボホリナート終了後	↓				↓				↓						↓
			生理食塩液	100mL	医師の指示通り															

～ MEMO ～

催吐レベル2(10%以上30%未満)

<ベバシズマブ>

創傷治癒遅延の作用により術後28日以内の投与不可口

投与速度:初回90分,忍容性良好であれば60分,30分まで短縮可

投与期間中は投与回数が増えるほど高血圧の出現頻度が高くなるため定期的に血圧を測定すること。

<フルオロウラシル>

フルオロウラシルはレボホリナート投与開始1時間後に、全開で5分以内に投与